

- 1 単元 「自動計算プログラムを作ろう」
- 2 指導計画（4時間完了）
「自動計算プログラムを作ろう」・・・4時間（本時2／4）

3 本時の指導

(1) 目標

面積を自動で計算するプログラムを作ることができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

課題を解決するために必要な情報を、論理的に取捨選択することができる。

(3) 準備

教師：練習セット、ヒントセット（ビジュアルプログラミングソフト上のデータ）

児童：振り返りシート

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
2分	1 めあてを確認する。	○ ビジュアルプログラミングソフトを活用して、針金の長さ、それを基にして作成する長方形の横の長さを入力すると、自動的にその面積を答えるプログラムの作成を目指すことを伝える。
	面積を自動で計算するプログラムを作ろう	
3分	2 課題を確認する。	
	針金の長さは○cmです。この針金で、横の長さが□cmの長方形を作ると、長方形の面積は何cm ² ですか。	
10分	3 プログラミングの基礎を練習する。	○ 「練習セット」として、児童がプログラミングソフトに慣れ親しむための簡単なプログラムを用意しておく。 ○ 練習セットを基に簡単な課題を与えて解決させることで、基本操作に慣れさせるようにする。
25分	4 「ヒントセット」を基にして作成したプログラムを基に、針金の長さや、長方形の横の長さにいろいろな数値を入れて、プログラムが正しく動作するかを確かめる。	○ 「ヒントセット」を基に、うまく実行できない場合は、手順を見直してみるよう助言する。 ○ プログラムを改善する際は、なぜその手順にすればうまくいくと思うのか友達と確認させるようにする。

5分 | 5 本時の学習を振り返る。

○ 本時の授業から、自分に身に付いた力は何かをワークシートに記述させる。

評価事項

課題を解決するために必要な情報を、論理的に取捨選択することができる。

【活動の様子、ワークシートの記述】

□…正しく実行できた友達のプログラムを分析させ、その理由を考えさせる。

☆…友達に対して、どのようにプログラムを改善すればうまく実行できるかを分かりやすく説明させる。

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動